事例　照明灯調査/標識調査（道路ストック）

1 調査準備

管理者から提供されるデータを地図データへ落とし込みます。
自治体全体のため、エリアごとに調査します。

- 調査エリアごとの地図を用意

出簡調を使うメリット

地図は無償かつオフラインで使える地理院地図。

エリアごとに調査データを用意。平面図なども利用できます。(*)

2 老朽化点検

点検部位のチェックを近接目視を基本とし、調査を行います。写真も撮影していきます。
また、点検時に異常がある場合は、可能な限り応急措置を行います。

- 近接目視による点検
- 応急措置
- 損傷内容からの判定

出簡調を使うメリット

調査に必要なものはタブレットに一元化。
荷物を減らすことで効率アップ!

3 報告書作成

点検記録票（総括表）、点検記録票（損傷記録票）のを作成します。
日常管理にも活用できるよう、写真や位置図で示しておきます。

- 報告書作成
- 対策内容の検討

出簡調を使うメリット

エクスポートしたデータから台帳や位置図を作成。成果品作成の負担が低減します。(*)

写真は、点検箇所ごとに自動でフォルダ分けされているので、整理の時間が削減！

(*)PC-MAPPING HTを必要とする場合があります。
詳しくはお問い合わせください。